

# 沿岸企業に聞く「今年の抱負」

あの東日本大震災から2年目となる2013年が幕を開けた。社会情勢や経済など、企業を取り巻く環境がめまぐるしく変化中、信念を持って新たなる一步を踏み出した沿岸企業のトップに聞いた。

## 年頭のごあいさつ



財団法人いわて産業振興センター  
専務理事  
熊田 淳

あけましておめでとうございます。未曾有の震災から、今年でまる2年を迎えようとしています。復興が進んだとはいえ、まだまだ道半ばの状況です。これからも県民一丸となって、取り組んでいきたいものです。岩手県は「自動車」「半導体」「IT」など製造業を、「世界に誇る」産業として重点的に支援していますが、昨今、我が国を取り巻く経済状況は、長く続く円高や、近隣諸国との緊張など、予断を許さない状況が続いています。我々の力で解決できることは限られているかもしれませんが、この閉塞感

をどう打開するか、考えていかなければなりません。一方で、県内においては昨年、太陽光発電など「自然エネルギー」に関する動きが活発です。設置が検討されている「国際リニアコライダー（ILC）」の動向も気になるようです。本県の産業構造が今後、どのような形に進んでいくのかについて注意深く見守りつつ、私ども産業振興センターが、企業の皆さまに行える支援とは何か、これからも検討を重ねていきたいと思っております。もちろん、製造業に限らず、企業者の皆さまに対し、広くご支援できるよう、誠心誠意努力してまいります。どうぞ今年も当センターをご愛顧くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

## より生産性を上げるため、新工場の改善へチャレンジ

釜石で水産缶詰および調理冷凍食品を製造。原料の魚の丸ごと買い付けで実現できる、品質の高い製品を全国のお客様にお届けしています。2012年は鶴住居町に新しい工場を再建。4月に稼働し、やっと本格的な営業活動を始めたのは6月の末でした。震災で失ったお客様が戻るか不安でした

が、お客様は毎月増え続け半年後の現在は8割程度まで復活。しかし風評被害も根強くあり、社内にも万全のチェック体制をとっています。被災した沿岸企業共通の悩みは人材不足。2013年は少ない人員でも生産性を上げていけるように、新工場の改善へと挑戦していきます。



株式会社津田商店  
代表取締役社長 津田 保之氏

所在地／岩手県釜石市鶴住居町10-30-1  
電話／0193-29-1800  
業種／水産缶詰、調理冷凍品、レトルト食品  
URL／http://www.tsudashouten.co.jp/

2013年のキーワード **「飛躍」** 生産性が上がれば収益も上がる。新たな飛躍の1年にしたいです。



株式会社ウェーブクレスト 宮古工場  
工場長 佐々木 勲氏

所在地／岩手県宮古市松山6-46  
電話／0193-65-0556  
業種／プリント基板実装、電機・機械組立、ハーネス加工

## 「メイド・イン・宮古」のものを世界にアピール

宮古工場の業務はプリント基板の実装や電子部品組立。震災で工場は全壊しましたが、2011年11月には移転と新築を果たしました。「一番に復興する」という意思と結果は、大きなアピールになったと思います。世界的金融不安などにより製造業は苦戦を強いられています。海外と競争し

ていく武器は「人」。どんなに機械化が進んでも求められる手作業に、ひたむきさや真面目さという我々の気質を生かしたい。メイド・イン・宮古のものを究めます。現在は、関係機関と協力し自動車産業の沿岸進出を目指しています。復興も産業創出もスピードが鍵です。

2013年のキーワード **「スピード」** 2014年までに何らかの結果を出す。2013年はスタートラインです。

## 再起を支えた自社製品。新たなる開発へ向け準備も着々

震災の年の5月に工場の再開ができたのは、高速ワカメ攪拌塩蔵機「しおまる」とペレット薪兼用ストーブ「クラフトマン」のふたつの自社開発製品があったから。2012年は全国の展示会へも積極的に出展し、周知につとめました。震災後は特に、自然の力で燃焼する「クラフトマン」の評判が高まっています。

この「しおまる」「クラフトマン」に続く、第3の自社製品を作るのが2013年のテーマ。水産業や農業にも使える製品として、自家発電しながら燃焼制御可能なストーブの開発に取り組んでおり、試作品も完成。今年度中の発表を目指しています。



石村工業株式会社  
代表取締役 石村真一氏

所在地／岩手県釜石市大平町4-2-1  
電話／0193-22-3641  
業種／プラント・省力化機械製造  
URL／http://www.rnac.ne.jp/~ishimura/

2013年のキーワード **「希望」** 新たな自社製品の完成は、我々の大きな希望となっています。



きのこのSATO販売株式会社  
代表取締役 佐藤博文氏

所在地／岩手県陸前高田市高田町字本宿87-1  
電話／0192-55-3457  
業種／きのこの生産・販売  
URL／http://www.kinoko-no-sato.com/

## 三陸育ちの高品質なしいたげときくらげを復興の原動力に

三陸の海の恵みと気候風土を受け、潮風を当てて育てた当社のしいたげときくらげは内外から高い評価を頂いています。このきのこのブランド化を通じ、陸前高田の復興に貢献したいという想いを2012年1月開催の「みんなの夢アワード2012」で訴え、最優秀賞を受賞。今では生産が追いつかないほど全国に取引先

が増えました。事業は3カ年で50棟のきのこ用ハウスを建てること。お待ちいただいているお客様のためにも、ハウス建設と計画的生産を進めているところです。従業員も震災前の20名から倍の40名にまで拡大。地元の雇用を増やしていくことも大きな目標です。

2013年のキーワード **「もっと前へ」** 生産規模も雇用も販売先も、全部含めて前進させていくのが願い。